

# 斜里町知床横断道路沿いの植物目録

斎藤 新一郎

美瑛市光珠内町東山 北海道立林業試験場

## まえがき

道路建設にともなう、直接的な影響としての森林の分断、自然植生の破壊、景観の部分的損傷などは、その後の森林（林縁部）の衰退、帰化植物の侵入、山地崩壊などのような、間接的な影響（後遺症）を長期間にわたってもちつづける場合が少なくない。

本調査地の知床横断道路は、建設にあたって、工法（とくに法面基礎工および植生工）に工夫がこらされている。それでも、なお、上記の諸問題の多くは未解決のままである。近年、事前のアセスメントはかなり詳しく実施されるようになってきたが、事後の推移については未だ十分な継続調査がなされていない現状といえる。

筆者は、この横断道路沿いにおける森林植生の現況を調査してきて（斎藤、1984）、芝張りにともなう帰化植物および平地の（別の場所からの）自生植物の導入・定着と、森林の衰退と、ここにおける自生植物の回復（自然の治癒力）とを注目している。

本稿では、今後の森林および道路法面植生の推移を観察するために、この道路沿いの植物目録をつくり、それらの生態的な特徴についても記してみた。これが関係各位の参考になれば幸甚である。

なお、本研究に発表の場を与えられた、斜里町立知床博物館の藤田孝夫館長に、筆者は深く篤く感謝の意を表す。また、現地調査にあたって、斜里町役場の大瀬 昇自然保護係長（現、環境保全係長）、北海道立林業試験場の斎藤 満自然保護科長および鈴木悌司研究員に協力していただいたことに深い謝意を表す。そして、調査補助をされた佐々木公彦、荒木敏文、小林 朗、太田賢児、小林久進および松本英貴の諸君にも謝意を表す。

## 調査地ふきんの概要

調査地は、知床横断道路（国道 334号）のうち、岩尾別分岐点から知床峠までの約10kmである（図1および2）。

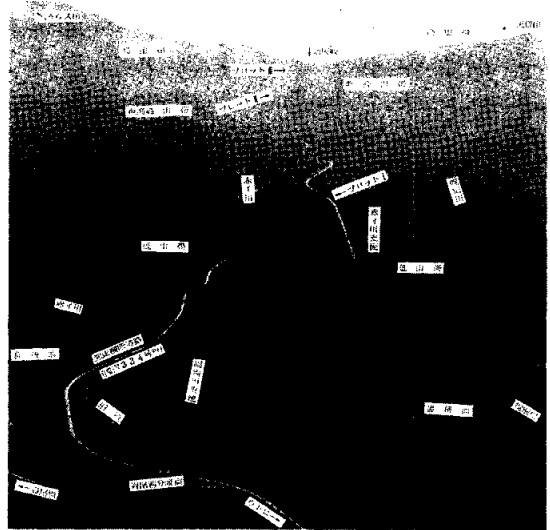


写真1. 調査地の概観（斜里地区交通安全協会の車内広告から引用、加筆）

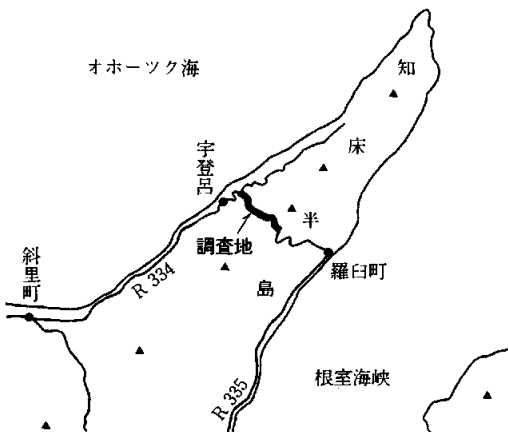


図1. 調査地位置図

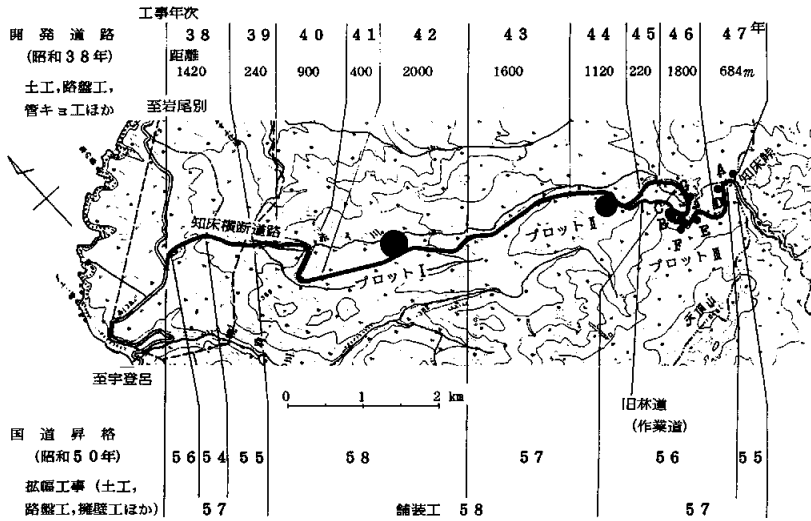


図2. 知床横断道路の工事経過 (網走開発建設部, 1983: 斎藤, 1984から引用)

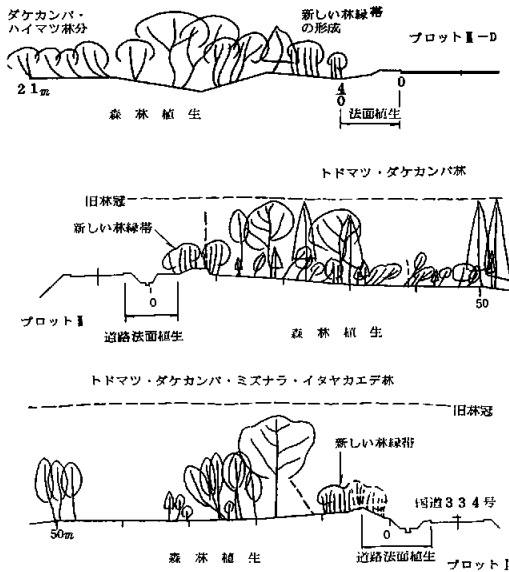


図3. 道路沿いの植生の概略図 (斎藤, 1984から引用)

調査地には、低山帯の森林 (プロット I から下方)、亜高山帯下部の森林 (プロット II ふきん)、亜高山帯上部の森林 (プロット III の下部) および高山帯のそう林 (プロット III の上部) という、林相

の異なった森林群落が存在する。それらと道路とのおよその関係は、図3に示される。

また、調査地全体の概観は、写真1に示される。

### 調査結果

現地調査を、1981年9月上~中旬、1982年7月上~中旬、9月上~中旬、および1983年9月上旬に各1週間行い、さらに、1984年9月中~下旬に補充調査を行った。

知床横断道路 (斜里町側) 沿いに観察された植物は、次のようである。

### 【凡例】

- 1) 分類および記載については、主として、大井・北川 (1983) に従った。
- 2) 木本と草本とを分けて記した。
- 3) 和名の次の記載は、生活形、たね散布、垂直分布の順である。

生活形 木本 常: 常緑性  
 落: 落葉性 (夏緑性)  
 高: 高木、高さ10m以上  
 小高: 小高木、5~10m  
 低: 低木、5m以下  
 小低: 小低木、地上をはうもの

つ：つる性木本、樹木に  
からみつき、高くよ  
じ登るもの

草本 一：一年生草  
二：二年生草（越年草）  
多：多年生草  
小：小型草本  
中：中型草本  
大：大型草本（高茎草本）  
つ：つる性草本

たね散布 風：風による散布  
動：動物による散布<sup>(1)</sup>  
これ以外の、重力、自力、水  
流などでは、距離、方向  
などに説明しがたい点がある。

垂直分布 低：低山帯（落葉広葉樹林帯  
～針広混交林帯下部、温  
帯～冷温帯）  
亜高：亜高山帯（針広混交林  
帯上部～ダケカンバ帯、

冷温帯～亜寒帯）  
高：高山帯（ハイマツ帯、亜寒帯  
～寒帯）

帰化植物（\*印） 主として、明治時代以降  
に入ってきたものとした。

非現地植物（\*\*印） 本来は現地に自生し  
ていなかったもの。これらは  
海岸、低湿地、牧草地などに  
生育していたもので、道路法  
面の緑化のために導入（ない  
し随伴）された。これらには  
北海道に自生のもの、本州か  
らのもの、古い帰化植物（史  
前および明治より前の渡来者）  
なども含まれる。

（植） 植栽木

1) これには、被食型（消化管通過型）、貯食型（隠  
匿貯蔵型）、付着型などがある。

## 植 物 リ ス ト

Woody plants  
Spermatophyta  
Gymnospermophytina  
Coniferopsida  
Pinaceae  
*Abies sachalinensis* MASTERS  
*Picea jezoensis* CARR.  
*P. glehnii* MASTERS(Planted)  
*Larix kaempferi* CARR. (Planted)\*  
*Pinus pumila* REGEL

Taxopsida  
Taxaceae  
*Taxus cuspidata* SIEB. et ZUCC.  
Angiospermophytina  
Dicotyledoneae  
Choripetalae  
Salicaceae

木 本  
種子植物門  
裸子植物亜門  
球果植物綱  
マツ科  
トドマツ（トドモミ） 常・高・風／動・低～亜高  
エゾマツ（エゾトウヒ） 常・高・風・低～亜高  
アカエゾマツ（アカエゾトウヒ、植） 常・高・風  
カラマツ（植）\* 落・高・風  
ハイマツ（ハイゴヨウ、ダケゴヨウ） 常・低・動・亜  
高～高（一部、植）

イチイ綱  
イチイ科  
イチイ（オンコ） 常・高・動・低～亜高

被子植物亜門  
双子葉植物綱  
離弁花亜綱  
ヤナギ科

<i>Populus sieboldii</i> MIQUEL	ヤマナラシ	落・高・風・低
<i>Toisusu urbaniana</i> KIMURA	オオバヤナギ	落・高・風・低
<i>Salix hultenii</i> var. <i>angustifolia</i> KIMURA	エゾノバッコヤナギ (エゾノヤマネコヤナギ)	落・高・風・低～亜高
<i>S. pet-susu</i> KIMURA	エゾノキヌヤナギ	落・高・風・低～亜高
<i>S. sachalinensis</i> FR. SCHM.	ナガバヤナギ (オノエヤナギ)	落・高・風・低
Betulaceae	カバノキ科	
<i>Betula ermanii</i> CHAM.	ダケカンバ	落・高・風・低～亜高
<i>B. platyphylla</i> var. <i>japonica</i> HARA	シラカンバ	落・高・風・低
<i>Alnus maximowiczii</i> CALLIER	ミヤマハンノキ	落・小高・風・亜高～高
<i>A. hirsuta</i> TURCZ.	ケヤマハンノキ	落・高・風・低
Fagaceae	ブナ科	
<i>Quercus mongolica</i> var. <i>grosseserrata</i> REHD.	ミズナラ	落・高・動・低～亜高 (一部、植)
et WILS.		
Ulmaceae	ニレ科	
<i>Ulmus davidiana</i> var. <i>japonica</i> NAKAI	ハルニレ (アカダモ)	落・高・風・低
<i>U. laciniata</i> MAYR	オヒョウ	落・高・風・低
Moraceae	クワ科	
<i>Morus bombycis</i> KOIDZ.	ヤマグワ	落・小高・動・低
Magnoliaceae	モクレン科	
<i>Magnolia obovata</i> THUNBERG	ホオノキ	落・高・動・低
<i>M. kobus</i> var. <i>borealis</i> SARG.	キタコブシ	落・高・動・低
Saxifragaceae	ユキノシタ科	
<i>Schizophragma hydrangeoides</i> SIEB. et ZUCC.	イワガラミ	落・つ・風・低～亜高
<i>Hydrangea petiolaris</i> SIEB. et ZUCC.	ツルアジサイ (ゴトウヅル)	落・つ・風・低～亜高
<i>H. paniculata</i> SIEBOLD	ノリウツギ (サビタ)	落・低・風・低～亜高
Rosaceae	バラ科	
<i>Spiraea betulifolia</i> PALL.	マルバシモツケ	落・低・風・亜高～高
<i>S. salicifolia</i> LINN.	ホザキシモツケ	落・低・風・低～亜高
<i>Sorbaria sorbifolia</i> var. <i>stellipila</i> MAXIM.	ホザキナナカマド	落・低・風・低～亜高
<i>Rubus idaeus</i> var. <i>aculeatissimus</i> REGEL st TILING	エゾイチゴ	落・低・動・低～亜高
<i>R. mesogaeus</i> FOCKE	クロイチゴ	落・低・動・低
<i>R. phoenicolasius</i> MAXIM.	エビガライチゴ	落・低・動・低～亜高
<i>Prunus nipponica</i> var. <i>kurilensis</i> WILSON	チシマザクラ	落・小高・動・亜高
<i>P. sargentii</i> REHDER	エゾヤマザクラ	落・高・動・低
<i>P. maximowiczii</i> RUPR.	ミヤマザクラ (シロザクラ)	落・高・動・低
<i>P. ssiori</i> FR. SCHM.	シウリザクラ	落・高・動・低
<i>Pourthiaea villosa</i> DECNE.	ワタゲカマツカ (ウシコロシ)	落・低・動・低
<i>Sorbus matsumurana</i> KOEHN	ウラジロナナカマド	落・低・動・亜高～高
<i>S. commixta</i> HEDL.	ナナカマド	落・高・動・低～高
<i>S. sambucifolia</i> ROEM.	タカネナナカマド	落・低・動・高
Leguminosae	マメ科	
<i>Lespedeza bicolor</i> TURCZ.	エゾヤマハギ	落・低・風/動・低
<i>Maackia amurensis</i> var. <i>buergeri</i> C. K. SCHN.	イヌエンジュ	落・高・風/動・低

Rutaceae	ミカン科	
<i>Phellodendron amurense</i> RUPR.	キハダ (シコロ)	落・高・動・低～亜高
<i>Skimmia japonica</i> THUNB.	ツルシキミ	常・小低・動・低～亜高
Anacardiaceae		
<i>Rhus ambigua</i> LAVALEE	ツタウルシ	落・つ・動・低～亜高
<i>R. trichocarpa</i> MIQ.	ヤマウルシ	落・低・動・低
Aquifoliaceae	モチノキ科	
<i>Ilex sugerokii</i> MAXIM.	アカミノイヌツゲ	常・低・動・亜高
<i>I. crenata</i> THUNB.	イヌツゲ	常・低・動・低
<i>I. c.</i> subsp. <i>radicans</i> TATEW.	ハイイヌツゲ	常・低・動・低
<i>I. rugosa</i> FR. SCHM.	ツルツゲ	常・小低・動・低～高
Celastraceae	ニシキギ科	
<i>Celastrus orbiculatus</i> THUNB.	ツルウメモドキ	落・つ・動・低
<i>Euonymus tricarplus</i> KOIDZ.	クロツリバナ (ムラサキツリバナ)	落・低・動・亜高
<i>E. planipes</i> KOEHN	オオツリバナ	落・低・動・低～亜高
Aceraceae	カエデ科	
<i>Acer japonicum</i> THUNB.	ハウチワカエデ (メイゲツカエデ)	落・高・風/動・低～亜高
<i>A. palmatum</i> var. <i>matsumurae</i> MAKINO	ヤマモミジ	落・高・風/動・低
<i>Acer mono</i> MAXIM.	イタヤカエデ (エゾイタヤ)	落・高・風/動・低
<i>A. m.</i> var. <i>mayrii</i> KOIDZ.	ベニイタヤ (アカイタヤ)	落・高・風/動・低
<i>A. ukurunduense</i> TRAUTV. et MEY.	オガラバナ (ホザキカエデ)	落・小高・風/動・亜高
<i>A. tschonoskii</i> MAXIM.	ミネカエデ	落・低・風/動・亜高～高
Vitaceae	ブドウ科	
<i>Vitis coignetiae</i> PULLIAT	ヤマブドウ	落・つ・動・低
Tiliaceae	シナノキ科	
<i>Tilia maximowicziana</i> SHIRASAWA	オオバボダイジュ (アオジナ)	落・高・風/動・低
<i>T. japonica</i> SIMONKAI	シナノキ (アカジナ)	落・高・風/動・低
Actinidiaceae	マタタビ科	
<i>Actinidia kolomikta</i> MAXIM.	ミヤママタタビ	落・つ・動・低～亜高
<i>A. arguta</i> PLANCH.	サルナシ (コクワ、シラクチヅル)	落・つ・動・低
Araliaceae	ウコギ科	
<i>Aralia elata</i> SEEMANN	タラノキ	落・低・動・低
<i>Kalopanax pictus</i> NAKAI	ハリギリ (センノキ)	落・高・動・低
Cornaceae	ミズキ科	
<i>Cornus controversa</i> HEMSLEY	ミズキ	落・高・動・低
Sympetalae	合弁花亜綱	
Ericaceae	ツツジ科	
<i>Menziesia pentandra</i> MAXIM.	コヨウラクツツジ	落・低・風・亜高
<i>Leucothoe grayana</i> var. <i>oblongifolia</i> OHWI	ハナヒリノキ	落・低・風・亜高
<i>Vaccinium vitis-idaea</i> LINN.	コケモモ (フレップ)	常・小低・動・高
<i>V. praestans</i> LAMB.	イワツツジ	落・小低・動・亜高～高
<i>V. ovalifolium</i> J. E. SMITH	クロウスゴ	落・小低・動・亜高～高

*V. smallii* A. GRAY  
 Oleaceae  
*Fraxinus mandshurica* var. *japonica* MAXIM.  
*F. lanuginosa* KOIDZ.  
 Caprifoliaceae  
*Sambucus sieboldiana* var. *miquelii* HARA  
*Viburnum furcatum* BLUME  
*V. wrightii* MIQ.  
*Linnaea borealis* LINN.  
*Weigela middendorffiana* K. KOCH  
 Monocotyledoneae  
 Gramineae  
*Sasa senanensis* REHD.  
*S. kurilensis* MAKINO et SHIBATA  
*S. nipponica* MAKINO (Planted)

オオバスノキ 落・小低・動・低～高  
 モクセイ科  
 ヤチダモ 落・高・風／動・低  
 アオダモ (コバノトネリコ) 落・高・風／動・低  
 スイカズラ科  
 エゾニワトコ 落・低・動・低  
 オオカメノキ (ムシカリ) 落・低・動・低～亜高  
 ミヤマガマズミ 落・低・動・低  
 リンネソウ 常・小低・動・亜高～高  
 ウコンウツギ 落・低・風・亜高～高  
 単子葉植物綱  
 イネ科  
 クマイザサ 常・低・動・低～亜高  
 チシマザサ (ネガマリダケ) 常・低・動・低～高  
 ミヤコザサ (植) 常・低・動・低～亜高

Herbs and grasses

草 本

Spermatophyta

種子植物門

Angiospermophytina

被子植物亜門

Dicotyledoneae

双子葉植物綱

Choripetalae

離弁花亜綱

Urticaceae

イラクサ科

*Urtica platyphylla* WEDD.

エゾイラクサ 多・大・風／動・低

Polygonaceae

タデ科

*Rumex acetosella* LINN.\*

ヒメスイバ\* 多・小・風／動・低～亜高

*R. obtusifolius* LINN.\*\*

エゾノギシギシ\*\* 多・中・動／風・低

*Polygonum longisetum* DE BRUYN\*\*

イヌタデ\*\* 一・中・動・低～亜高

*P. scabrum* MOENCH\*\*

サナエタデ\*\* 一・中・動・低

*P. lapathifolium* LINN.\*\*

オオイヌタデ\*\* 一・中・動・低

*P. sachalinense* FR. SCHM.

オオイタドリ 多・大・風・低～亜高

*P. weyrichii* FR. SCHM.

ウラジロタデ 多・中・風・亜高

*P. thunbergii* SIEB. et ZUCC.

ミゾソバ (ウシノヒタイ) 一・中・動・低

Chenopodiaceae

アカザ科

*Chenopodium album* LINN.\*\*

シロザ\*\* 一・中・風・低

*C. a.* var. *centrorubrum* MAKINO\*\*

アカザ\*\* 一・中・風・低～亜高

*C. serotinum* LINN.\*

コアカザ\* 一・中・風・低

Amaranthaceae

ヒユ科

*Amaranthus patulus* BERTOLONI\*\*

ヒユ\*\* 一・中・風・低

Caryophyllaceae

ナデシコ科

*Moehringia lateriflora* FENZL

オオヤマフスマ 多・小・風／動・低～亜高

*Cerastium holosteoides* var. *hallaisanense* MIZUSHIMA\*\* ミミナグサ\*\*

二・小・風／動・低～亜高

*Stellaria* sp.\*\*

ハコベ属の1種\*\* 二・小・風・低

*Spergula arvensis* var. *sativa* KOCH\*

オオツメクサ\* 一・中・動・低

*Melandryum* sp.\*\*

フシグロ属の1種\*\* 多・中・風／動・低

<i>Silene alba</i> E. H. L. KRAUSE*	ヒロハノマンテマ*	多/二・中・風/動・低
Ranunculaceae	キンポウゲ科	
<i>Cimicifuga simplex</i> WORMSK.	サラシナショウマ	多・大・動・低~亜高
<i>Ranunculus acer</i> LINN.	ミヤマキンポウゲ	多・中・動・低~亜高
<i>Anemone debilis</i> FISCHER	ヒメイチゲ	多・小・動・亜高
<i>Thalictrum aquilegifolium</i> LINN.	カラマツソウ	多・中・動・低~亜高
<i>T. minus</i> var. <i>hypoleucum</i> MIQ.	アキカラマツ	多・大・動・低
<i>Aconitum yezoense</i> NAKAI	エゾノトリカブト	多・中・風・低
<i>Actaea asiatica</i> HARA	ルイヨウショウマ	多・中・動・低~亜高
<i>Coptis trifolia</i> SALISB.	ミツバオウレン	多・小・動・亜高~高
Cruciferae	アブラナ科	
<i>Cardamine scutata</i> THUNB.	ヤマタネツケバナ (オオバタネツケバナ)	多・中・風・低
<i>Rorippa islandica</i> BORAS**	スカシタゴボウ**	二/一・中・風・低
<i>Capsella bursa-pastoris</i> MEDIC.**	ナズナ**	二・小・風・低
Saxifragaceae	ユキノシタ科	
<i>Astilbe thunbergii</i> var. <i>congesta</i> H. BOISS.	トリアシショウマ	多・中・風・低~亜高
Rosaceae	バラ科	
<i>Fragaria linumae</i> MAKINO	ノウゴウイチゴ	多・つ・動・低~亜高
<i>Aruncus dioicus</i> var. <i>kamtschaticus</i> HARA	ヤマブキショウマ	多・中・風・低~亜高
<i>Potentilla fragarioides</i> var. <i>major</i> MAXIM.	キジムシロ	多・小・風・低
<i>P. stolonifera</i> LEHM.	ツルキジムシロ	多・小・風・低
<i>P. freyniana</i> BORNM.	ミツバツチグリ	多・小・風/動・低~亜高
<i>Geum aleppicum</i> JACQ.	オオダイコンソウ	多・中・動・低
<i>Filipendula kamtschatica</i> MAXIM.	オニシモツケ	多・大・風・低~亜高
<i>Sanguisorba tenuifolia</i> var. <i>alba</i> TRAUTV. et MEY.	ナガボノシロワレモコウ	多・大・風・低~亜高
<i>Agrimonia pilosa</i> LEDEB.	キンミズヒキ	多・中・動・低
Leguminosae	マメ科	
<i>Thermopsis lupinoides</i> LINK.**	センダイハギ**	多・中・動・低
<i>Vicia cracca</i> LINN.	クサフジ	多・つ・動・低~亜高
<i>V. unijuga</i> A. BR.	ナンテンハギ (フタバハギ)	多・中・動・低
<i>Trifolium pratense</i> LINN.*	アカツメクサ (ムラサキツメクサ、レッドクローバー)*	多・小・風/動・低~亜高
<i>T. repens</i> LINN.*	シロツメクサ (ホワイトクローバー)*	多・小・風/動・低~亜高
Geraniaceae	フウロソウ科	
<i>Geranium erianthum</i> DC.	チシマフウロ	多・中・風・低~亜高
Oxalidaceae	カタバミ科	
<i>Oxalis acetosella</i> LINN.	コミヤマカタバミ	多・小・動・亜高~高
Guttiferae	オトギリソウ科	
<i>Hypericum erectum</i> THUNB.	オトギリソウ	多・中・風・低~亜高
Violaceae	スミレ科	
<i>Viola mandshurica</i> BECKER	スミレ	多・小・風・低~亜高
<i>V. grypoceras</i> A. GRAY	タチツボスミレ	多・小・風・低~亜高
<i>V. biflora</i> LINN.	キバナノコマノツメ	多・小・風・亜高

Onagraceae	アカバナ科	
<i>Epilobium</i> sp.	アカバナ属の1種	多・小・風・低～亜高
<i>E. angustifolium</i> LINN.	ヤナギラン	多・大・風・低～亜高
<i>E. montanum</i> LINN.	エゾアカバナ	多・中・風・亜高
<i>Oenothera biennis</i> LINN.*	アレチマツヨイグサ (メマツヨイグサ)*	多・中・風・低～亜高
Araliaceae	ウコギ科	
<i>Aralia cordata</i> THUNB.	ウド	多・大・動・低～亜高
Umbelliferae	セリ科	
<i>Hydrocotyle sibthorpioides</i> LAM.	チドメグサ	多・小・風/動・低～亜高
<i>Osmorhiza aristata</i> MAKINO et YABE	ヤブニンジン (ナガジラミ)	多・中・動・低
<i>Angelica ursina</i> MAXIM.	エゾニュウ	多・大・風/動・低
<i>A. anomala</i> LALLEM.	エゾノヨロイグサ	多・大・風/動・低
Cornaceae	ミズキ科	
<i>Cornus canadensis</i> LINN.	ゴゼンタチバナ	多・小・動・亜高～高
Sympetalae	合弁花亜綱	
Pyrolaceae	イチヤクソウ科	
<i>Chimaphila umbellata</i> W. BARTON	オオウメガサソウ	多・小・風・亜高
<i>Pyrola secunda</i> LINN.	コイチヤクソウ	多・小・風・亜高
Primulaceae	サクラソウ科	
<i>Trientalis europaea</i> LINN.	ツマトリソウ	多・小・風・亜高～高
<i>Lysimachia vulgaris</i> var. <i>davurica</i> R. KUNTH	クサレタマ	多・中・風・低～亜高
Gentianaceae	リンドウ科	
<i>Halenia corniculata</i> CORNAZ	ハナイカリ	一/二・小・風・亜高
<i>Tripterospermum japonicum</i> MAXIM.	ツルリンドウ	多・つ・動・低～亜高
<i>Gentiana triflora</i> PALL.	エゾリンドウ	多・中・風・低～高
Labiatae	シソ科	
<i>Scutellaria pekinensis</i> var. <i>ussuriensis</i> HAND.-MAZZ.	エゾタツナミソウ	多・中・風・低～亜高
<i>Plectranthus inflexus</i> VAHL	ヤマハッカ	多・中・風・低～亜高
<i>Elsholtzia ciliata</i> HYLANDER	ナギナタコウジュ	一・中・風・低
<i>Stachys japonica</i> var. <i>intermedia</i> OHWI	イヌゴマ	多・中・風・低～亜高
<i>Clinopodium gracile</i> var. <i>sachalinense</i> OHWI	ミヤマトウバナ	多・中・動・低
Solanaceae	ナス科	
<i>Solanum japonense</i> NAKAI	ヤマホロシ	多・中・動・低
Plantaginaceae	オオバコ科	
<i>Plantago asiatica</i> LINN.**	オオバコ**	多・小・動・低～亜高
<i>P. hakusanensis</i> KOIDZ.*	へらオオバコ*	多・小・動・低～亜高
Rubiaceae	アカネ科	
<i>Galium kamtschaticum</i> STELLER	エゾノヨツバムグラ	多・小・動・低～亜高
<i>G. verum</i> var. <i>asiaticum</i> NAKAI	キバナノカワラマツバ	多・中・動・低
<i>Asperula odorata</i> LINN.	クルマバソウ	多・小・動・低～亜高
Valerianaceae	オミナエシ科	
<i>Patrinia scabiosaefolia</i> FISCH.	オミナエシ	多・大・風・低



Campanulaceae

*Peracarpa carnosa* HOOK.

*Adenophora triphylla* var. *japonica* HARA

Compositae

*Achillea sibirica* LEDEB.

*A. sibirica* LEDEB.

*A. millefolium* LINN.

*Hieracium umbellatum* LINN.

*H. aurantiacum* LINN.

*Anaphalis margaritacea* var. *angustior* NAKAI

*Eupatorium chinense* var. *sachalinense* KITAM.

*E. c.* var. *simplicifolium* KITAM.

*Solidago virgaurea* subsp. *leiocarpa* HULTÉN

*Erigeron annuus* PERS.\*

*E. canadensis* LINN.

*Aster glehnii* FR. SCHM.

*Petasites japonicus* var. *giganteus* HORT.

*Senecio connabifolius* LESS.

*Cacalia auriculata* var. *kamtschatica* MATSUM.

*C. hastata* subsp. *orientalis* KITAM.

*Chrysanthemum leucanthemum* LINN.\*

*Artemisia montana* PAMPAN.

*A. japonica* THUNB.

*Cirsium kamtschaticum* LEDEB.

*C. pectinellum* A. GRAY

*C. vulgare* TENORE

*Breca setosum* KITAM.

*Hypochoeris radicata* LINN.\*

*Picris hieracioides* var. *glabrescens* OHWI

*Taraxacum officinale* WEBER\*

*Sonchus brachyotis* DC.

*Lactuca raddeana* var. *elata* KITAM.

Monocotyledoneae

Gramineae

*Festuca rubra* LINN.\*

*F. elatior* LINN.

*Phreum pratense* LINN.\*

*Agrostis alba* LINN.\*

*Lolium perenne* LINN.

キキョウ科

タニギキョウ 多・小・動・低

ツリガネニンジン 多・大・風/動・低~亜高

キク科

ノギリソウ 多・中・風/動・低~亜高

エゾノギリソウ 多・中・風/動・低~亜高

セイヨウノギリソウ\* 多・中・風/動・低

ヤナギタンポポ 多・中・風・低~亜高

コウリントンポポ\* 多・小・風・低~亜高

ヤマハハコ 多・中・風・低~高

ヨツバヒヨドリ 多・大・風・低~亜高

ヒヨドリバナ 多・中・風・低

ミヤマアキノキリンソウ (コガネギク) 多・中・風・低~高

ヒメジョオン\* 二・中・風・低~亜高

ヒメムカシヨモギ\* 二・中・風・低~亜高

エゾゴマナ 多・大・風・低~亜高

アキタブキ (オオブキ) 多・大・風・低~亜高

ハンゴンソウ 多・大・風・低~亜高

ミミコウモリ 多・中・風・低~亜高

ヨブスマソウ 多・大・風・低

フランスギク\* 多・中・風/動・低~亜高

オオヨモギ 多・大・風/動・低~亜高

オトコヨモギ 多・中・風/動・低

チシマアザミ (エゾアザミ) 多・大・風/動・低~高

エゾノサワアザミ 多・大・風・低

アメリカオニアザミ\* 多・大・風・低~亜高

エゾノキツネアザミ 多・大・風・低

タンポポモドキ (ブタナ)\* 多・小・風・低~亜高

コウゾリナ 多・中・風・低~亜高

セイヨウタンポポ\* 多・小・風・低~亜高

ハチジョウナ 多・中・風・低~亜高

ヤマニガナ 二・中・風・低

単子葉植物綱

イネ科

オオウシノケグサ (レッドフェスク)\* 多・中・風/動・低~亜高

ヒロハノウシノケグサ (トールフェスク)\* 多・大・風/動・低~亜高

オオアワガエリ (チモシー)\* 多・中・風/動・低~亜高

コヌカグサ (レッドトップ)\* 多・中・風・低~亜高

ホソムギ (ペレニアルライグラス)\* 多・中・風/動・低

<i>Echinochloa crus-galli</i> var. <i>frumentacea</i> TRIN.**	ヒエ**	一・中・動・低
<i>Calamagrostis langsdorffii</i> TRIN.	イワノガリヤス	多・中・風／動・低～高
<i>C. arundinacea</i> ROTH	ノガリヤス	多・大・風／動・低
<i>C. epigeios</i> ROTH	ヤマアワ	多・大・風／動・低～亜高
<i>Dactylis glomerata</i> LINN.*	カモガヤ (オーチャードグラス)*	多・中・風／動・低 ～亜高
<i>Poa pratensis</i> LINN.*	ナガハグサ (ケンタッキープルーグラス)*	多・中・風 ／動・低～亜高
<i>Setaria viridis</i> BEAUV.**	エノコログサ**	一・中・動／風・低
<i>S. glauca</i> BEAUV.**	キンエノコロ**	一・中・動／風・低
<i>Miscanthus sinensis</i> ANDERSS.**	ススキ (カヤ、オバナ)	多・大・風・低～亜高
<i>Elymus mollis</i> TRINIUS	ハマニンニク (テンキグサ)**	多・中・動・低
Cyperaceae	カヤツリグサ科	
<i>Carex sachalinensis</i> FR. SCHM.	ゴンゲンスゲ	多・小・動・低～高
<i>C. spp.</i>	スゲ属の数種	多・小／中・動／風・低～高
Commelinaceae	ツユクサ科	
<i>Commelina communis</i> LINN.**	ツユクサ**	一・小・動・低
Juncaceae	イグサ科	
<i>Juncus effusus</i> var. <i>decipiens</i> BUCHEN	イ (トウシンソウ)	多・小・動・低～亜高
Liliaceae	ユリ科	
<i>Polygonatum humile</i> FISCHER	ヒメイズイ	多・小・動・亜高
<i>Lilium maculatum</i> subsp. <i>davuricum</i> HARA** (Planted)	エゾスカシユリ (植)**	多・中・風・低～亜高
<i>Asparagus officinalis</i> LINN.*	アスパラガス*	多・大・動 (農廢地)
<i>Streptopus streptopoides</i> FRYE et RIGG	ヒメタケシマラン	多・小・動・亜高
<i>Maianthemum dilatatum</i> NELS. et MACBR.	マイヅルソウ	多・小・動・亜高～高
<i>Paris tetraphylla</i> A. GRAY	ツクバネソウ	多・小・動・低～亜高
Iridaceae	アヤメ科	
<i>Iris setosa</i> PALL.**	ヒオウギアヤメ**	多・中・風／動・低
Orchidaceae	ラン科	
<i>Spiranthes sinensis</i> AMES	ネジバナ	多・小・風・低
<i>Platanthera oprydioides</i> FR. SCHM.	キソチドリ	多・小・風・亜高
Orchidaceae app.	ラン科の数種	多・小／中・風・低～亜高
Pteridophyta	シダ植物門	
Equisetopsida	トクサ綱	
Equisetaceae	トクサ科	
<i>Equisetum hyemale</i> LINN.	トクサ	多・中・風・低
Lycopsidea	ヒカゲノカズラ綱	
Lycopodiaceae	ヒカゲノカズラ科	
<i>Lycopodium serratum</i> var. <i>thunbergii</i> MAKINO	ホソバトウゲシバ	多・小・風・低～高
<i>L. obscurum</i> LINN.	マンネンスギ	多・小・風・低～高
<i>L. clavatum</i> var. <i>nipponicum</i> NAKAI	ヒカゲノカズラ	多・小・風・低～高
<i>L. complanatum</i> LINN.	アスヒカズラ	多・小・風・亜高～高

<i>L. annotinum</i> LINN.	スギカズラ	多・小・風・亜高～高
Pteropsida	シダ綱	
Osmundaceae	ゼンマイ科	
<i>Osmunda asiatica</i> OHWI	ヤマドリゼンマイ	多・中・風・低～亜高
Pteridaceae	ワラビ科	
<i>Pteridium aquilinum</i> var. <i>latiusculum</i> UNDERW.	ワラビ	多・大・風・低～亜高
Plagiogyriaceae	キジノオシダ科	
<i>Plagiogyria matsumureana</i> MAKINO	ヤマソテツ	多・中・風・亜高
Aspidiaceae	オシダ科	
<i>Rumokra mutica</i> CHING	シノブカグマ	多・中・風・低～亜高
<i>Dryopteris austriaca</i> WOYNAR	シラネワラビ	多・中・風・亜高
<i>D. crassirhizoma</i> NAKI	オシダ	多・大・風・低
<i>Lastrea thelypteris</i> BORY	ヒメシダ	多・小・風・低～亜高
<i>Matteuccia struthiopteris</i> TODARO	クサソテツ	多・中・風・低～亜高
Pteropsida spp.	シダ類の数種	多・小／中・風・低～高

以上を整理すると、木本は79種（+2変種）である。これらを生活形・たね散布・垂直分布などで区分すると、次のようになる。

生活形	{	常緑性	14種
	{	落葉性	65
	{	裸子植物（針葉樹）	6種
	{	被子植物	73
		（双子葉類（広葉樹）	70）
		（単子葉類	3）
	{	高木	33種
	{	小高木	4
	{	低木	29
	{	小低木	6
	{	つる性木本	7
たね散布	{	風	23種
	{	風／動物	12
	{	動物	44
垂直分布	{	低山帯	33種
	{	低山帯～亜高山帯	25
	{	低山帯～高山帯	4
	{	亜高山帯	5
	{	亜高山帯～高山帯	10
	{	高山帯	2
	{	自生	76種
	{	植栽	3

また、草本については、未だ観察力や同定力が及ばない種もかなりあるであろうが、一応、153

種（+1変種）+が認められた。これらを生活形・たね散布・垂直分布などで区分すると、次のようになる。

生活形	{	一年生	13種
	{	一／二年生	2
	{	二年生	6
	{	二／多年生	1
	{	多年生	131+
	{	大型	29種
	{	中型	73+
	{	小型	48+
	{	つる性草本	3
	{	種子植物	138種+
	{	（双子葉類	109種
	{	（離弁花類	60種
	{	（合弁花類	49
	{	単子葉類	29+
	{	シダ植物	15+
たね散布	{	風	79種+
	{	風／動物	34+
	{	動物	40
垂直分布	{	低山帯	50種+
	{	低山帯～亜高山帯	74+
	{	低山帯～高山帯	10+
	{	亜高山帯	12+
	{	亜高山帯～高山帯	7
	{	高山帯	0

自生	109種+
非現地	20
帰化	24

小 考 察

植物の種数

道路が建設される前までは、本調査地の植物の種数はかなり少なかった、と推測される。つまり、針広混交林の高木層、低木層、ササ層および林床層を構成する木本と草本だけが生育していた、と考えられる。草本の多くは林床に生育する耐陰性のものであって、陽性のは自然の崩壊地・風倒跡地、溪流沿いなどに限定されるからである。

木本については、植栽されたもの（カラマツほか2種）を除くと、残りの76種が自生（現地性）のものと考えられる。

草本については、帰化植物（16%）および非現地性のもの（12%）が28%を占める。しかも、道路建設がもたらしたと推定される現地性の陽性のもの（10%強）を加えると、人為に由来する草本の比率は、40%ほどにもなってしまう。

「他所もの」草本の問題

上述の人為による草本の導入（ないし侵入）と定着は、道路法面が放置されるなら、やがて一部の大型多年生草本だけが残存して、現地に自生の木本・草本にとって代られるであろう。しかし、その一部の中のまた一部は、旺盛に生育して、元植生の回復を阻害しつつあるかもしれない。

また、道路法面の維持管理が継続されるなら、草刈り、施肥、再芝張りなどによって、「他所もの」草本は繁茂しつつ、しかも、さらに新しい種が侵入してくることも考えられる。「他所もの」草本は、国立公園の景観にマイナスでもある。

林縁帯の造成

道路に分断された森林植生は、回復に長い歳月を必要とするのであるが、その推移は図4のように予測される。知床横断道路の現状は、下部では図4のIIとIIIの間あたりにある、とみられる。

この新しい林縁帯の形成は、ダケカンバ主体であるが、他の高木・低木種やササ類も加わっていて、「他所もの」植物を駆逐しつつある。外来草本の根系に比較して、木本やササの根系はより大きい、より永続性のある土壤緊縛力をもつし、自生の植物による自然の修景緑化であるから、景観

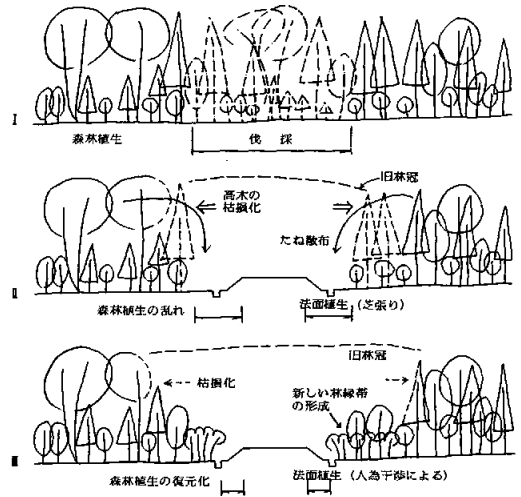


図4. 道路建設にとまなう森林植生の推移（予測）

I. 森林の伐採、II. 道路建設と道路両側の高木層の衰退、III. 新しい林縁帯の形成と高木層衰退の緩和

上もきわめて好ましいといえる。

天然侵入が不十分な場所では、積極的に林縁帯を造成していくことが望まれる。

排雪の影響

この山岳道路は、1984/85年までは冬季間に閉鎖されていたが、近い将来、通年使用も検討される、といわれる。その場合には、保温・保湿効果が失われることによる、路面近くの方法植生の衰退が考えられる。また、大量の排雪が路側に投げられることによる、雪の沈降圧および帯状の雪田形成（生長期間の短縮）が新しく形成されつつある林縁帯を損ねるであろう、と予想される。

要 約

1. 知床横断道路（岩尾別分岐点～知床峠間、10.384km）沿いに観察された植物は、木本が79種、草本が153種+、合計232種+であった。
2. 木本については、落葉広葉樹が主体である。針葉樹では、下部～中部でトドマツが、上部でハイマツが優占する。標高が高まると、種数が急減する。
3. 草本については、道路法面緑化工（主として、芝張り）に由来して、帰化植物が24種（帰化

率16%)、非現地性の植物が20種(12%)観察された。人為がもたらした「他所もの」植物の比率は、28%にもなる。

4. 道路法面植生の維持管理(草刈り、施肥など)が継続されるなら、外来牧草を主体とした「他所もの」の多年生植物が生育しつづけるであろう。
5. 木本の天然侵入が林縁部や道路法面に観察され、一部では新しい林縁帯が形成されて、道路沿いの森林の衰退を緩和しつつある。
6. 道路建設による影響を小さくするために、高木・低木・ササの侵入と林縁帯の形成とを助長する必要がある。また、「他所もの」草本を、可能な限り、用いない法面植生工を開発して、現地の植生を乱さない工夫が望まれる。

#### 参考文献

青い海と緑を守る会、1978。知床横断道路事後調査報告書。27pp。  
北海道開発局網走開発建設部、1998。一般国道334号斜里町地内知床国立公園環境保全調査報告書。143pp。  
中川 元、1983。知床半島の自然とその保護。第18回自然科学教育研究全道大会要旨集、p.12~13。

中田圭亮、1984。知床横断道路および北海道縦貫自動車道沿いにおける小哺乳類の生息状況。自然環境影響調査報告書、p.145~159、北海道立林業試験場。

大井次三郎・北川政夫、1983。新日本植物誌、顕花篇。1716pp., 至文堂、東京。

斎藤新一郎、1983。知床半島におけるホシガラスのハイマツ種子隠し場の観察。鳥、32:13~20。

—————、1984。知床横断道路沿いにおける森林植生の現況。自然環境影響調査報告書、p.1~94、北海道立林業試験場。

—————、1985。知床横断道路の法面植生および自然侵入による林縁帯の形成について。日林論集、96: ~。

鮫島惇一郎・佐藤 謙、1981。知床半島現存植生図および概説。2葉+64pp., 北海道。

—————・—————、1981。知床半島自然生態系総合調査報告書(総説・植物篇)。180pp., 北海道生活環境部自然保護課。

鈴木悌司ほか、1984。知床横断道路沿いにおける鳥類の生息状況。自然環境影響調査報告書、p.163~179、北海道立林業試験場。

横山保雄、1981。知床横断道路対策あれこれ。北海道自治、81(12):42~49。

A list of plants along the Shiretoko Road(Route 334),  
Shari-cho, easternmost Hokkaido.

Shin-ichiro SAITO

Hokkaido Forest Experiment Station,  
Bibai, Hokkaido 079-01.

## Summary

The Shiretoko Road(Route 334) was constructed in 1963 to 1980(Figs. 1, 2, Photo. 1).

1. Numbers of species observed along the road were 79 in woody plants, 153+ in herbs and grasses, and 232+ in total.
2. Forests along the road are composed of deciduous broad-leaved trees and shrubs and Todo-fir at low to subalpine zones. At alpine zone Japanese stone pine forms thickets.
3. Naturalized herbs and grasses, planted for soil-water conservation on slopes of the road, have disturbed the vegetation of native ones.
4. Woody plants, invaded to forest margins and slopes of the road, are establishing new marginal forest belts(Figs. 3, 4).